



2025年度年末手当満額を勝ち取ろう！ シリーズ②

## 社員の苦労に応えるため、 満額回答をせよ！

### 2025年度年末手当第1回団交

本部は本日、2025年度年末手当第1回団交を開催しました。今団交は、労使双方の趣旨説明を行いました。組合からの趣旨説明の要点は以下の通りです。

会社は単体で令和8年第1四半期、営業収益4,015億円を発表した。昨年の令和7年第1四半期で3,626億円だったことからも最高益に近づく状況になった。

訪日外国人数は、8月では343万人、前年同月比16.9%増となり、8月単月として過去最高を記録した。1月～9月の累計は前年同期比17.7%増の3,165万人と発表されている。

インバウンドの好調や大阪・関西万博輸送も重なり、経営状況は大幅に改善している。この増益は現場の社員の計り知れない苦労・努力によって実現できていることは言うまでもない。組合員や社員は自然災害に対し、大きな苦労を重ねながら、今夏の酷暑の中、額に汗して日々安全安定輸送を担ってきたからこそ、実現できている。

一方、米価格高騰を始めたとした食料品等について軒並み値上がりをし、その上ガソリン価格の高騰をはじめ、電気・ガスの光熱費高騰が持続され、家計を直撃している。

現場の社員によってなし得た利益を、社員に還元することは当たり前のことである。この間の社員の苦労によって積み上げられてきた多大な内部留保金もあり、年末手当を低額に抑制することは認められない。社員なくして会社の存在などあり得ない。

会社は真摯に現場社員の苦労に応え、申し入れの通り、満額の回答をすること。